

春の沢集中 庚申山笹ミキ沢

2012年6月10日

L平本（記）、河崎
糸井、山本、熊崎
安藤、塚原、柳下

前夜に渡良瀬溪谷鉄道、間藤駅にて仮眠。
翌朝は早起きして銀山平へ向かう。林道を少し歩いて笹ミキ橋より入溪。
天候が心配されたが、悪くも無さそうので安心する。
平凡な沢の中を8名の大パーティーがゾロゾロと歩いてゆく。
SLを河崎さんとして、4名×2の2編成で登ることとした。
程なく2段25mの滝にたどり着く。
この滝は水量も多めで迫力がある。周囲の緑も美しい。しばし眺めた後、高巻きに入る。比較的登られているためか、ルートに迷うことはなかったが、途中の露岩部分が少々いやらしく、ザイルを出してもらおう。河崎さんたちはやや下流側を大きめに巻いて楽にパスされた様だ。

その後は小さな巻き等で多少足場に注意の要るところはあるが、問題なく、6m～15m程の滝が多数ある。溪相も良く、楽しめる所である。

正面に2段45mの滝（これは支流）が見えると沢は左に曲がり、すぐに釜のある8m滝が現れる。WEB情報によると、水流左が階段状で易しい旨の記録があるが、今日は増水で水流には近づけない。左岸から巻くことにするが、河崎さんらは釜際の岩壁を歩き、難しそうである。我らはさらに下流側の凹部を登り、見た目よりも楽に越えられた。

その後は悪い所は無く、暫くゴロ歩きの後、綺麗な滑滝帯があり、左岸にコンコンと、と言うより地面からドバドバと水の湧き出る不思議な所を見ると伏流となる。右岸崩壊地を過ぎると同じく右岸に歩き易そうな低い笹の斜面が現れこれを詰める。

すぐに尾根上の登山道に出て遡行は終わる。

庚申山荘まで歩き、全員では時間がかかるので、熊崎、安藤さんと共に集中地点の山頂を目指す。

道が急で参ったが、無事山頂で集

中し、庚申山荘まで下って全員で
記念撮影。

あとは幻想的な風景の中、入渓地
点まで下山した。

6/9 厚木、町田～渡良瀬渓谷鉄道
間籐駅（仮眠）

6/10 笹ミキ橋入渓 6:05～2段 25
m滝 6:45～2段 45m支流 8:
50～左岸湧水地点 10:45～
登山道 11:50～庚申山荘
12:25～庚申山頂 13:15
～銀山平下山 16:00頃

地形図 皇海山、袈裟丸山、足尾、
中禅寺湖 (1/25000)